

民間臨床検査センターにおける HIV 検査の実施状況に関する調査

◎研究協力者 佐野 貴子（神奈川県衛生研究所微生物部）
研究協力者 近藤 真規子（株式会社ハナ・メディテック）
研究協力者 須藤 弘二（株式会社ハナ・メディテック）
研究協力者 今井 光信（田園調布学園大学）
研究分担者 加藤 眞吾（株式会社ハナ・メディテック）

研究要旨

我が国における HIV 検査は、主として病院・診療所等の医療機関、保健所等無料匿名検査施設および郵送検査等で実施されている。医療機関における HIV 検査の実施方法としては、自施設での検査と、外部検査機関（民間臨床検査センター等）への検査業務委託がある。また、保健所等無料匿名検査においても、民間臨床検査センターに HIV 検査を委託する自治体が増加している。今回、民間臨床検査センターでの HIV 検査の実施状況を把握することを目的に、大手・中堅民間検査センター19 か所を対象にアンケート調査を実施した。

回答が得られた 19 か所における 2023 年の HIV スクリーニング検査数は約 129 万件、スクリーニング陽性数は 1,472 件（スクリーニング陽性率 0.11%）であり、2022 年と比べて検査数は 7%、スクリーニング陽性数は 15%減少した。抗体確認検査はこれまで使用されてきた WB 法試薬が 2022 年 6 月に販売終了となり、2023 年 2 月までの使用期限であったことから、2023 年に抗体確認検査を実施していた 4 か所での新規確認 IC 法試薬（Geenius HIV 1/2 キット）の導入時期は、2022 年 1～4 月が 3 か所、2023 年 3 月が 1 か所であった。また、2021 年に WB 法を実施していたのは 6 か所であり、新規試薬への切り替えにあたり確認検査の集約化が進んでいると思われた。WB 法での検査数は WB-1 が 28 件、WB-2 が 20 件、陽性数は WB-1 が 2 件、WB-2 が 0 件であった。確認 IC 法の検査数は 8,003 件、HIV-1 陽性は 1,178 件、HIV-2 陽性は 0 件、HIV 陽性（型別不能）は 2 件であり、昨年の抗体確認検査数 7,651 件、陽性数 1,083 件よりも増加していた。

民間臨床検査センターの実施状況の調査は我が国の検査状況および動向を調査するのに重要と思われる、今後も継続していく必要があると考える。

A.研究目的

我が国における HIV 検査は、主として病院・診療所等の医療機関、保健所等無料匿名検査施設および郵送検査等で実施されている。医療機関における HIV 検査は、自施設で検査を実施しているところと、外部検査機関（民間臨床検査センター等）に検査を業務委託しているところがある。また、保健所等無料匿名検査においても、民間臨床検査センターにスクリーニング検査および確認検査を委託する自治体が増加している。今回、民

間臨床検査センターにおける HIV 検査の実施状況を把握することを目的にアンケート調査を実施した。

B.研究方法

HIV 検査を実施している大手・中堅民間検査センター19 か所に対して、HIV 検査実施に関する調査票を 2024 年 1 月に送付した（資料 1）。民間臨床検査センターは都道府県知事に衛生検査所として登録を認められた検査施設であり、令和 5

年9月27日現在で全国に約1000か所ある¹⁾。このうち大手と呼ばれるセンターは6か所である²⁾。

アンケート調査対象期間は2023年1月から12月とし、調査項目は、①1次検査（スクリーニング）検査数および陽性数、②スクリーニング検査試薬名、③スクリーニング検査結果の返却方法、④新規抗体確認検査試薬 Geenius の導入状況、⑤抗体確認検査数および陽性数、⑥HIV-1 RNA 定量検査実施状況、⑦HIV 薬剤耐性検査実施状況、とした。調査票は返信用封筒により回収し、集計・解析を行った。

（倫理面への配慮）

アンケート集計に際して、結果から施設名等が特定できないように配慮した。

C.研究結果

調査対象とした大手・中堅民間臨床検査センター19施設にアンケートを依頼したところ、全施設より回答が得られた（表1）。HIV 検査項目別実施施設数は、スクリーニング検査実施が18か所、抗体確認検査のWB法実施が1か所

（2023年2月まで）、確認IC法実施が4か所、HIV-1 RNA 定量検査実施が4か所、HIV 薬剤耐性検査が2か所であった（表2）。また、自施設においてスクリーニング検査、抗体確認検査、HIV-1 RNA 定量検査およびHIV 薬剤耐性検査のすべてを実施している施設は1か所であり、スクリーニング検査、抗体確認検査およびHIV-1 RNA 定量検査の実施施設は2か所、スクリーニング検査と抗体確認検査は1か所、HIV-1 RNA 定量検査とHIV 薬剤耐性検査は1か所、スクリーニング検査のみは14か所だった（表3）。

HIV 検査別の検査数および陽性数では、スクリーニング検査数は1,290,891件、スクリーニング陽性数は1,472件（スクリーニング陽性率0.11%）であった（表4）。使用しているスクリーニング検査試薬はすべての施設が自動分析装置を用いた

第4世代試薬であった（表5）。

抗体確認検査はこれまで使用されてきたWB法試薬が2022年6月に販売終了となり、2023年2月までの使用期限であったことから、2023年に抗体確認検査を実施していた4か所での新規確認IC法試薬（Geenius HIV 1/2 キット）の導入時期は、2022年1～4月が3か所、2023年3月が1か所であった。WB法での検査数はWB-1が28件、WB-2が20件、陽性数はWB-1が2件、WB-2が0件であった（表4）。確認IC法の検査数は8,003件、HIV-1陽性は1,178件、HIV-2陽性は0件、HIV陽性（型別不能）は2件であり、WB法と確認IC法を合計した抗体確認検査陽性数は1,182件であった。

HIV-1 RNA 検査の検査数は91,517件、HIV 薬剤耐性検査の検査数は1,147件であった。

スクリーニング検査結果が陽性となった場合の結果の返却方法（複数回答可）は、単一のスクリーニング検査の結果をそのまま返却する施設が10か所（そのうち、本項目のみに丸をつけた施設は3か所）、異なる方法のHIVスクリーニング検査（二重検査）を行い、両方の結果を返却する施設が1か所、異なる方法のHIVスクリーニング検査（二重検査）を行い、総合判定結果を返却する施設が5か所、一連のHIV検査として引き続き同検体で確認検査を実施している施設が1か所であった（表6）。また、依頼先からの再検査により確認検査を実施しているのは3か所、医師に確認検査が必要である旨を連絡する（連絡のみ）のは9か所、医師に確認検査を行う項目を確認して検査を実施しているのは5か所であった。

D.考察

今回、回答が得られた大手・中堅民間臨床検査センター19か所において、HIVスクリーニング検査を実施している施設は18か所、HIV-1RNA 定量検査と薬剤耐性検査の遺伝子検査のみを実施している施設が1か所であった。スクリーニング検査のみを実施する施設が14か所あったが、

抗体確認検査や HIV-1 RNA 定量検査は別の民間臨床検査センターに再委託されているところが多かった。

スクリーニング検査実施施設の 18 か所で年間 1,290,891 件のスクリーニング検査が実施されていた。2022 年は 1,387,316 件であり、7%の減少となった。

使用試薬にはすべて自動分析装置を使用する第 4 世代試薬が用いられており、感染初期検出期間が最短のスクリーニング検査試薬を導入していた。スクリーニング陽性数は 1,472 件でスクリーニング陽性率は 0.11%であったが、そのうちの確認検査陽性数は今回のアンケート調査では把握できなかった。

抗体確認検査はこれまで使用されてきた WB 法試薬が 2022 年 6 月に販売終了となり、2023 年 2 月までの使用期限であったことから、2023 年に抗体確認検査を実施していた 4 か所での新規確認 IC 法試薬（Geenius HIV 1/2 キット）の導入時期は、2022 年 1～4 月が 3 か所、2023 年 3 月が 1 か所であった。2021 年に WB 法を実施していたのは 6 か所あったのに対し、2023 年に確認 IC 法を導入しているのは 4 か所であったことから、新規試薬への切り替えにあたり確認検査の集約化が進んでいると思われた。

WB 法の検査数は WB-1 が 28 件、WB-2 が 20 件であり、2023 年 2 月までの実施であった。3 月からはすべての施設で確認 IC 法試薬に切り替えられ、依頼検体の全例に HIV-1 と HIV-2 の抗体確認検査の施行が可能となった。自動判定装置（Geenius リーダー）の導入により、型別判定が個人差なく均一化されることから、結果判定の質の向上に寄与すると思われる。ただし、抗体確認検査で HIV-1 抗体と HIV-2 抗体が同時に検出可能となった等の理由から、スクリーニング検査を行わずに直接確認 IC 法を検査依頼し、確認 IC 法で偽陽性となった事例が報告されており、検査センター側では確認 IC 法依頼検体についてスクリーニング検査を実施しているかどうかの確認は

難しいと思われ、その対策が必要と考える。

2023 年の確認 IC 法の検査数は 8,003 件、HIV-1 陽性は 1,178 件、HIV-2 陽性は 0 件、HIV 陽性（型別不能）は 2 件であった。添付文書において、HIV 陽性（型別不能）の説明に『タイプ判別ができない HIV 陽性検体は、多くの場合、HIV-1 への反応性により、視覚的に鑑別できない HIV-2 陽性検体です。非常に稀なケースとして、HIV-2 へ交差反応を示す HIV-1 陽性検体、あるいは、HIV-1 及び HIV-2 共感染の可能性があります。』との記載があり、HIV-1 単独陽性例以外の検出動向に注意する必要がある。また、抗体確認検査陽性数の合計 1,182 件はエイズ動向委員会の HIV 感染者/エイズ患者報告数を上回っており、発生届未提出の可能性やフォローアップ等で検査依頼されている事例があると思われた。HIV-1 RNA 検査の検査数は 91,517 件であり、2022 年の 87,700 件と比較し、4%の増加であった。HIV 薬剤耐性検査の実施数は 1,147 件であり、2022 年は 850 件であったことから、35%の増加であった。HIV 感染者のフォローアップ検査である遺伝子検査はどちらも件数の増加が見られた。

スクリーニング検査陽性の場合の結果の取り扱いについては、一連の HIV 検査として引き続き同検体で抗体確認検査を実施している施設が 1 か所、医師に確認検査項目を確認し、希望する確認検査を実施する施設が 5 か所であり、これらの施設では、スクリーニング検査陽性例の多くが確認検査に繋がっていると思われた。これら 6 か所のスクリーニング検査数は 633,115 件（49%）であった。一方、単一のスクリーニング検査の結果をそのまま返却すると回答した 10 か所のうち、この項目にのみに丸をした施設は 3 か所ありスクリーニング検査数は 160,353 件（12%）であった。それらの施設の確認検査の実施は担当医師の判断に任せられていると思われた。

民間臨床検査センターには診療所の多くや病院の半数程度が検査業務委託をしている³⁾。また、保健所等無料匿名検査においても、通常検査実施

施設における検査センターへのスクリーニング検査委託割合は約 3 割となっている⁴⁾。民間臨床検査センター18 施設でのスクリーニング検査数は約 129 万件に上っており、民間臨床検査センターが担う検査機関としての重要性が認識された。民間臨床検査センターの実施状況調査は我が国の検査状況および動向を把握するのに有効と思われる、今後も継続した調査が必要である。

E. 結論

大手・中堅民間検査センター19 か所中スクリーニング検査実施施設 18 か所において、年間約 129 万件の HIV スクリーニング検査が実施されている。抗体確認検査陽性数は 1,182 件であり、エイズ動向委員会で報告されている HIV 感染者/エイズ患者数を上回っていた。2022 年には HIV-2 陽性が 2 件検出、2023 年には HIV 陽性（型別不能）が 2 件検出されており、その動向には注意が必要である。また、スクリーニング検査を行わずに直接確認 IC 法を検査依頼し偽陽性となった事例が報告されており、その対策が必要と考える。

謝辞

検査業務等で大変ご多忙の中、本アンケート調査にご協力頂きました民間臨床検査センターのご担当者様に厚く御礼申し上げます。

F. 健康危険情報

なし

(参考文献)

- 1) 保発 0927 第 6 号厚生労働省保険局長通知。衛生検査所検査料金調査について、令和 5 年 9 月 27 日
- 2) 株式会社矢野経済研究所：2023年版臨床検査センター経営総鑑
https://www.yano.co.jp/market_reports/C64100900 (2024/2/22アクセス)

- 3) 加藤真吾、須藤弘二. 病院における HIV 検査に関するアンケート実態調査. 厚生労働科学研究費補助金 HIV 検査受検勧奨に関する研究—平成 28 年度総括・分担研究報告書、P109-122
- 4) 土屋菜歩、他. HIV 検査・相談における疫学的な現状評価にかかる研究その 2、保健所における HIV 検査・相談の現状評価と課題解決に向けての研究. 厚生労働科学研究費補助金 HIV 検査体制の改善と効果的な受検勧奨のための研究—令和 4 年度総括・分担研究報告書、P117-157

G. 研究発表

1. 論文発表

- Uno S, Gatanaga H, Hayashida T, Imahashi M, Minami R, Koga M, Samukawa S, Watanabe D, Fujii T, Tateyama M, Nakamura H, Matsushita S, Yoshino Y, Endo T, Horiba M, Taniguchi T, Moro H, Igari H, Yoshida S, Teshima T, Nakajima H, Nishizawa M, Yokomaku Y, Iwatani Y, Hachiya A, Kato S, Hasegawa N, Yoshimura K, Sugiura W, Kikuchi T. Virological outcomes of various first-line ART regimens in patients harbouring HIV-1 E157Q integrase polymorphism: a multicentre retrospective study. *J Antimicrob Chemother.* 2023 Dec 1;78(12):2859-2868. doi: 10.1093/jac/dkad319.
- 2) Otani M, Shiino T, Hachiya A, Gatanaga H, Watanabe D, Minami R, Nishizawa M, Teshima T, Yoshida S, Ito T, Hayashida T, Koga M, Nagashima M, Sadamasu K, Kondo M, Kato S, Uno S, Taniguchi T, Igari H, Samukawa S, Nakajima H, Yoshino Y, Horiba M, Moro H, Watanabe T, Imahashi M, Yokomaku Y, Mori H, Fujii T, Takada K, Nakamura A, Nakamura H, Tateyama M, Matsushita S, Yoshimura K, Sugiura W, Matano T, Kikuchi T; Japanese Drug Resistance HIV-1 Surveillance Network. Association of demographics, HCV co-

infection, HIV-1 subtypes and genetic clustering with late HIV diagnosis: a retrospective analysis from the Japanese Drug Resistance HIV-1 Surveillance Network. J Int AIDS Soc. 2023 May;26(5):e26086. doi: 10.1002/jia2.26086.

2.学会発表

- 1) 須藤弘二、佐野貴子、近藤真規子、今井光信、今村顕史、加藤眞吾. HIV 郵送検査に関する実態調査(2022). 第 37 回日本エイズ学会学術集会、京都市、2023 年.
- 2) 佐野貴子、近藤真規子、須藤弘二、櫻木淳一、今井光信、加藤眞吾、今村顕史. 民間臨床検査センターにおける HIV 検査等の実施

状況及び確認 IC 法検査試薬導入に関する調査. 第 37 回日本エイズ学会学術集会、京都市、2023 年.

H.知的所有権の出願・登録状況（予定を含む）

①特許取得

なし

②実用新案登録

なし

③その他

なし

民間検査センターにおけるHIV検査実施状況に関するアンケート結果(2023年)

表1 アンケート送付数および回収数

	施設数
送付数	19箇所
回収数	19箇所(100%)

表2 HIV検査項目別実施施設数(19箇所中)

検査項目	実施施設数	外部委託数	実施なし
スクリーニング検査	18箇所	0箇所	1箇所
抗体確認検査 WB法	1箇所*	—	—
抗体確認検査 確認IC法(Geenius)	4箇所**	13箇所	2箇所
HIV-1 RNA定量検査	4箇所	15箇所	0箇所
HIV薬剤耐性検査	2箇所	7箇所	10箇所

*2023年2月まで実施

** 導入時期:2022年1月、2022年3月、2022年4月、2023年3月

表3 自施設での検査実施項目別施設数(19箇所中)

自施設での検査実施項目	施設数
スクリーニング検査、抗体確認検査(確認IC法)、HIV-1RNA定量検査、HIV薬剤耐性検査	1箇所
スクリーニング検査、抗体確認検査(確認IC法)、HIV-1RNA定量検査	2箇所
スクリーニング検査、抗体確認検査(確認IC法)	1箇所
HIV-1 RNA定量検査、HIV薬剤耐性検査	1箇所
スクリーニング検査のみ(確認検査項目は委託を含む)	14箇所

表4 HIV検査別検査数および陽性数

検査種別	検査数	陽性数
スクリーニング検査(18箇所)	1,290,891件	1,472件(陽性率0.11%)
抗体確認検査 WB-1(1箇所)	28件	2件
抗体確認検査 WB-2(1箇所)	20件	0件
抗体確認検査 確認IC法(4箇所)	8,003件	HIV-1陽性 1,178件
		HIV-2陽性 0件
		HIV陽性数(型別不能)2件
HIV-1 RNA定量検査(4箇所)	91,517件	—
HIV薬剤耐性検査(2箇所)	1,147件	—

表5 スクリーニング検査(1次検査)の使用試薬について(18箇所中)

使用試薬	施設数
第4世代	18箇所
第3世代	0箇所

表6 スクリーニング検査で陽性となった場合のその後の取り扱いについて（複数回答可、18箇所中）

結果通知方法	施設数
A) 単一のスクリーニング検査結果をそのまま返す。	10箇所
B) 異なる方法のHIVスクリーニング検査（二重検査）を行ない、両方の結果を返す。	1箇所
C) 異なる方法のHIVスクリーニング検査（二重検査）を行ない、総合判定結果を返す。	5箇所
D) 一連のHIV検査として、同じ検体で、確認検査を実施する。	1箇所
E) 依頼先からの再依頼により確認検査を実施する。	3箇所
F) 医師に確認検査が必要である旨を連絡する（連絡のみ）。	9箇所
G) 医師に確認検査項目を確認し、希望する確認検査を実施する。	5箇所
H) その他*	2箇所

* その他の記載事項

- ・陽性の場合、報告書に「確認検査（IC法、遺伝子検査法）を実施してください」とのコメントを記載する。
- ・スクリーニング検査結果を報告する際に「診療におけるHIV-1/2感染症のガイドライン2020版」の資料を添付し、医師に確認検査依頼を推奨している。

民間検査センターにおけるHIV検査実施状況に関するアンケート結果(2023年)

表1 アンケート送付数および回収数

	施設数
送付数	19箇所
回収数	19箇所(100%)

表2 HIV検査項目別実施施設数(19箇所中)

検査項目	実施施設数	外部委託数	実施なし
スクリーニング検査	18箇所	0箇所	1箇所
抗体確認検査 WB法	1箇所*	—	—
抗体確認検査 確認IC法(Geenius)	4箇所**	13箇所	2箇所
HIV-1 RNA定量検査	4箇所	15箇所	0箇所
HIV薬剤耐性検査	2箇所	7箇所	10箇所

*2023年2月まで実施

** 導入時期:2022年1月、2022年3月、2022年4月、2023年3月

表3 自施設での検査実施項目別施設数(19箇所中)

自施設での検査実施項目	施設数
スクリーニング検査、抗体確認検査(確認IC法)、HIV-1RNA定量検査、HIV薬剤耐性検査	1箇所
スクリーニング検査、抗体確認検査(確認IC法)、HIV-1RNA定量検査	2箇所
スクリーニング検査、抗体確認検査(確認IC法)	1箇所
HIV-1 RNA定量検査、HIV薬剤耐性検査	1箇所
スクリーニング検査のみ(確認検査項目は委託を含む)	14箇所

表4 HIV検査別検査数および陽性数

検査種別	検査数	陽性数
スクリーニング検査(18箇所)	1,290,891件	1,472件(陽性率0.11%)
抗体確認検査 WB-1(1箇所)	28件	2件
抗体確認検査 WB-2(1箇所)	20件	0件
抗体確認検査 確認IC法(4箇所)	8,003件	HIV-1陽性 1,178件
		HIV-2陽性 0件
		HIV陽性数(型別不能)2件
HIV-1 RNA定量検査(4箇所)	91,517件	—
HIV薬剤耐性検査(2箇所)	1,147件	—

表5 スクリーニング検査(1次検査)の使用試薬について(18箇所中)

使用試薬	施設数
第4世代	18箇所
第3世代	0箇所

表6 スクリーニング検査で陽性となった場合のその後の取り扱いについて(複数回答可、18箇所中)

結果通知方法	施設数
A) 単一のスクリーニング検査結果をそのまま返す。	10箇所
B) 異なる方法のHIVスクリーニング検査(二重検査)を行ない、両方の結果を返す。	1箇所
C) 異なる方法のHIVスクリーニング検査(二重検査)を行ない、総合判定結果を返す。	5箇所
D) 一連のHIV検査として、同じ検体で、確認検査を実施する。	1箇所
E) 依頼先からの再依頼により確認検査を実施する。	3箇所
F) 医師に確認検査が必要である旨を連絡する(連絡のみ)。	9箇所
G) 医師に確認検査項目を確認し、希望する確認検査を実施する。	5箇所
H) その他*	2箇所

* その他の記載事項

- ・陽性の場合、報告書に「確認検査(IC法、遺伝子検査法)を実施してください」とのコメントを記載する。
- ・スクリーニング検査結果を報告する際に「診療におけるHIV-1/2感染症のガイドライン2020版」の資料を添付し、医師に確認検査依頼を推奨している。

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業

HIV 検査体制の改善と効果的な受検勧奨に関する研究

研究代表者 今村 顕史（東京都立駒込病院）

研究分担者 加藤 眞吾（(株) ハナ・メディテック）

アンケート事務局 佐野 貴子（神奈川県衛生研究所）

〒253-0087 茅ヶ崎市下町屋 1-3-1 Tel. 0467-83-4400 Fax. 0467-83-4457

E-mail kensahan@m10.alpha-net.ne.jp

令和 6 年 1 月 4 日

HIV 検査責任者・担当者の皆様

HIV 検査に関するアンケートのお願い

厚生労働省の研究事業につきましては、日ごろ格別のご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

さて、本年度も民間検査機関における“HIV 検査に関するアンケート調査”を実施させて頂きたく存じます。検査業務で大変お忙しいところ申し訳ございませんが、別紙のアンケートにご記入の上、**令和 6 年 1 月 26 日（金）**までに郵便または FAX にてご返送をお願い申し上げます。

お答えいただいた回答は日本の HIV 検査の実態を把握する上で大変貴重なデータとなりますので、ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。また、これら HIV 感染の疫学調査に関連しまして、何か参考になります情報等がございましたら是非お知らせくだされば幸いです。

なお、アンケートの集計結果は報告書および学会発表等に用いさせて頂くことがありますことをご了承ください。発表に用いるデータは集計結果のみを使用し、個別の施設名が分かる形で公表することはありません。

このたび WB 法が販売終了となり、新しい抗体確認検査試薬（確認 IC 法：Geenius）を用いた HIV 感染症の診断ガイドラインの改訂が行われました。今後も HIV 検査の質の向上のため、皆様と共に努めて参りたいと考えております。

何かご不明の点がございましたら kensahan@m10.alpha-net.ne.jp までご連絡下さい。

今後ともご協力の程どうぞよろしくお願い申し上げます。

研究分担者 加藤 眞吾

アンケート回収 FAX 送信先：神奈川県衛生研究所 佐野貴子 宛 FAX: 0 4 6 7 - 8 3 - 4 4 5 7

HIV 検査に関するアンケート (R5/2023 年)

施設名： _____
 HIV 検査責任者： _____
 検査担当者： _____ (部署名)
 住所： 〒 _____
 TEL. _____ FAX. _____ E-mail _____

1. 2023 年（1～12 月）のスクリーニング検査数とその結果についてお答えください。

※ 昨年報告の 2022 年の検査数等の数値に変更がある場合にはお知らせください。

	1 次検査(スクリーニング)			1 次検査陽性例の追加スクリーニング検査※		
	キット名	検査数	陽性数	キット名	検査数	陽性数
2023 年 1-12 月						

※ 1 次検査とは異なるスクリーニング検査試薬で二重検査（追加スクリーニング検査）を行っている場合の件数

2. スクリーニング検査で陽性となった場合のその後の扱いについてお答え下さい（複数回答可）。

- A) 単一のスクリーニング検査結果をそのまま返す。
 B) 異なる方法の HIV スクリーニング検査（二重検査）を行ない、両方の結果を返す。
 C) 異なる方法の HIV スクリーニング検査（二重検査）を行ない、総合判定結果を返す。
 D) 一連の HIV 検査として、同じ検体で、
 (①抗体確認検査法のみ ②抗体確認検査法+遺伝子検査法 ③遺伝子検査法のみ) を行う。
 E) 依頼先からの再依頼により確認検査
 (①抗体確認検査法のみ ②抗体確認検査法+遺伝子検査法 ③遺伝子検査法のみ) を行う。
 F) 医師に確認検査が必要である旨を連絡する。
 G) 医師に確認検査項目を確認し、希望する確認検査を実施する。
 H) その他 ()

3. 抗体確認検査試薬（確認 IC 法/Geenius（バイオ・ラッド社））は導入されていますか？

- A) 自施設で検査 (年 月より導入)
 → 2023 年（1～12 月）の抗体確認検査数とその結果についてお答えください。

	Geenius 検査数	Geenius HIV-1 陽性数	Geenius HIV-2 陽性数	Geenius HIV 陽性数 (型別不能)	Geenius 専用 リーダーの導入
2023 年 1-12 月					有 ・ 無

- B) 検査を外部委託 → 委託先名： _____ (年 月より委託)

委託検査数： _____ 件/年

- C) 導入予定なし

4. 現在、HIV-1 RNA 定量検査を実施していますか。

A) 自施設で検査 → <方法> 試薬名：_____

検査数：_____ 件／年

B) 検査を外部委託 → 委託先名：_____

委託検査数：_____ 件／年

C) 実施していない

5. 現在、HIV 薬剤耐性検査を実施していますか。

A) 自施設で検査 → <方法> 試薬名：_____

検査数：_____ 件／年

B) 検査を外部委託 → 委託先名：_____

委託検査数：_____ 件／年

C) 実施していない

6. HIV 検査に関すること、研究班への意見、提案、要望等がございましたらご自由にお書き下さい。

ご協力ありがとうございました。

アンケート締め切り： 令和6年1月26日（金）（郵送・FAX）